

取扱説明書

モタロウ 中量ラック 200kg

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
下記の注意事項をお守りいただき、正しい方法で組立て、ご使用ください。

本書は大切に保存してください。

本製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本書を添えてお渡しく下さい。

耐荷重は棚1段あたり最大200kg(等分布平均荷重)です

警告 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 最大荷重を超過して載積しないでください。棚本体が転倒したり、傾いて荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 安全保安部品(コーナプレート・ボルトナットなど)をはずして使用しないでください。事故によってけがをすることがあります。
- 廃棄をするときは、専門業者におまかせください。

注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は傷害または物的損害が発生する可能性があります。

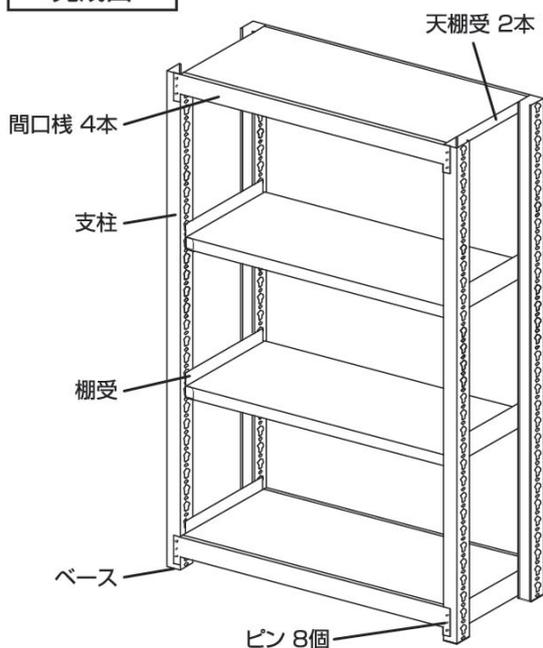
- 集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せないでください。棚1段あたりの耐荷重は等分布荷重です。集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せると棚板がたわみ荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 足を掛けたりよじ登ったりしないでください。転倒してけがをしたり棚が変形することがあります。
- 荷物を放り投げて載せないでください。棚板がたわみ、荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板に荷物を載せないでください。棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをすることがあります。
- 棚本体に寄りかからないでください。棚の積載物・積載量によって、棚が倒れけがをすることがあります。
- 本製品の孔に指を入れしないでください。孔に指を入れると、けがをすることがあります。特に小さなお子様はお気をつけください。
- 危険物(薬品・壊れ物など)を収納しないでください。人体や衣服などに傷をつけることがあります。
- ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないでください。(定期的に点検してください)棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- 上下を確認のうえ、正しく使用してください。棚板を逆向きに使用すると、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板は支柱の上端に必ず取付けてください。支柱の角でけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- 分解禁止。分解組立は専門業者にお任せください。転倒などの事故のおそれがあります。
- 用途以外で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。

材質

- 支柱・間口棧・棚板・天・棚受・安全ピン……………スチール製(メラミン樹脂焼付塗装)
- ベース……………樹脂製(黒色)

本書に従って正しく組立てを行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を使用して行ってください。(2名以上での組立てを推奨します)また、完成後は注意事項をお守りいただき正しくご使用ください。

完成図



1台セット内容

単体の場合	増連の場合
<ul style="list-style-type: none"> ●支柱 支柱×4本 	<ul style="list-style-type: none"> ●支柱 支柱×2本
<ul style="list-style-type: none"> ●間口棧 間口棧×4本 	<ul style="list-style-type: none"> ●間口棧 間口棧×4本
<ul style="list-style-type: none"> ●棚板 棚板×(天地段数) 	<ul style="list-style-type: none"> ●棚板 棚板×(天地段数)
<ul style="list-style-type: none"> ●天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベース×4個 安全ピン×8本 	<ul style="list-style-type: none"> ●天棚受・棚受・部品 天棚受×2本 棚受(天地段数-1)×2 ベース×2個 安全ピン×8本

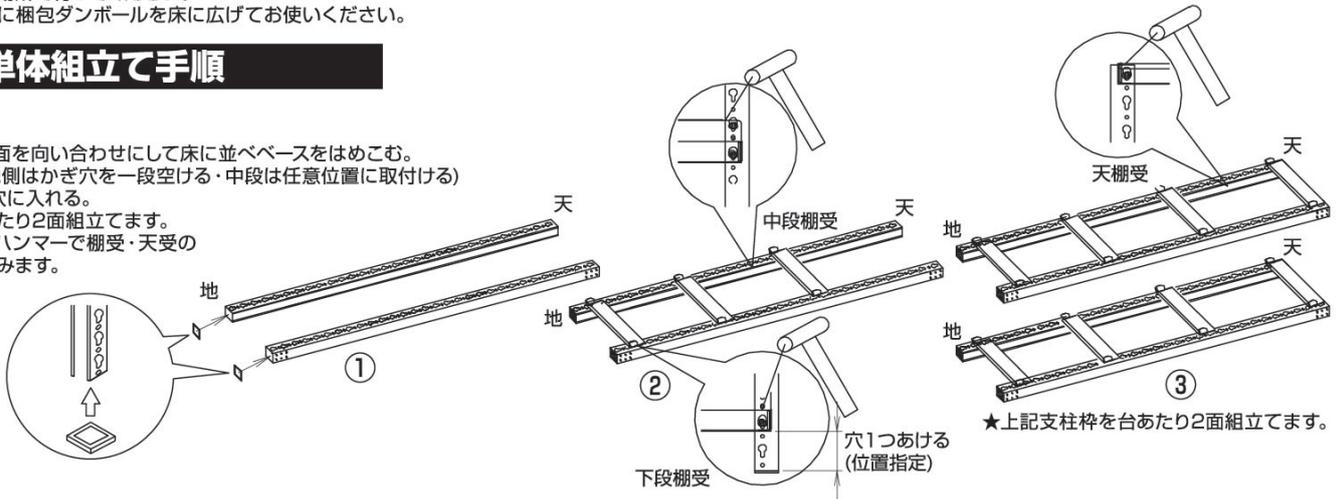
必要数
1梱包

※組立て時には木ツチまたはゴムハンマーをご用意ください。
 ※組立ては必ず広い場所で行ってください。
 ※床や製品の傷防止に梱包ダンボールを床に広げてお使いください。

単体組立て手順

1 支柱枠組み

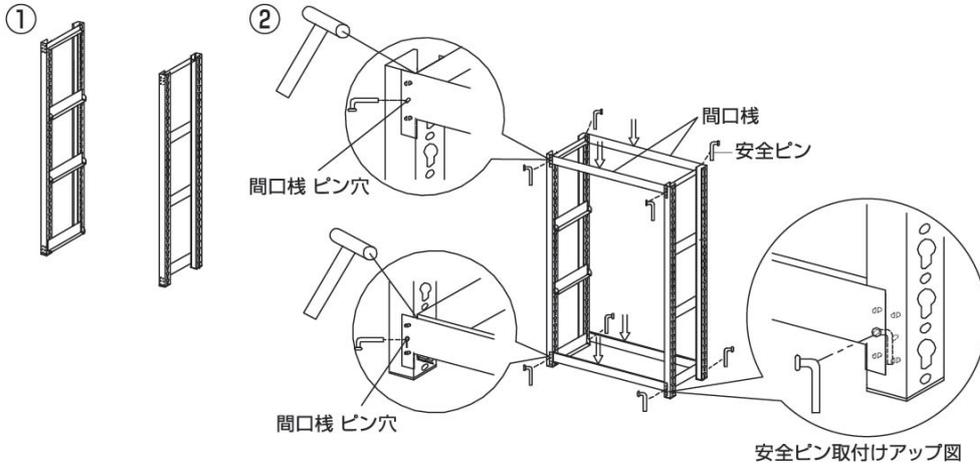
- ①支柱を2本を開放面を向い合わせにして床に並べベースをはめこむ。
 - ②棚受を取付ける(地側はかぎ穴を一段空ける・中段は任意位置に取付ける)
 - ③天棚受を1番上の穴に入れる。
- ★上記支柱枠を台あたり2面組立てます。
 ※木ツチまたはゴムハンマーで棚受・天受の上部を軽く叩き込みます。



★上記支柱枠を台あたり2面組立てます。

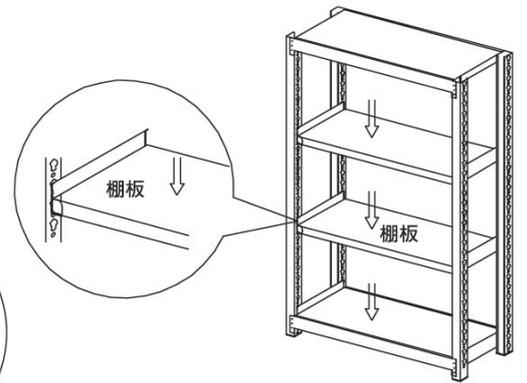
2 間口棧の取付け

- ①支柱を2つ向い合わせ、棚受が内側になるように立てる。
 - ②間口棧4本を図のように取付け、安全ピンを8カ所入れる。
- ※木ツチまたはゴムハンマーで間口棧の上部を軽く叩き込みます。



3 棚板の取付け

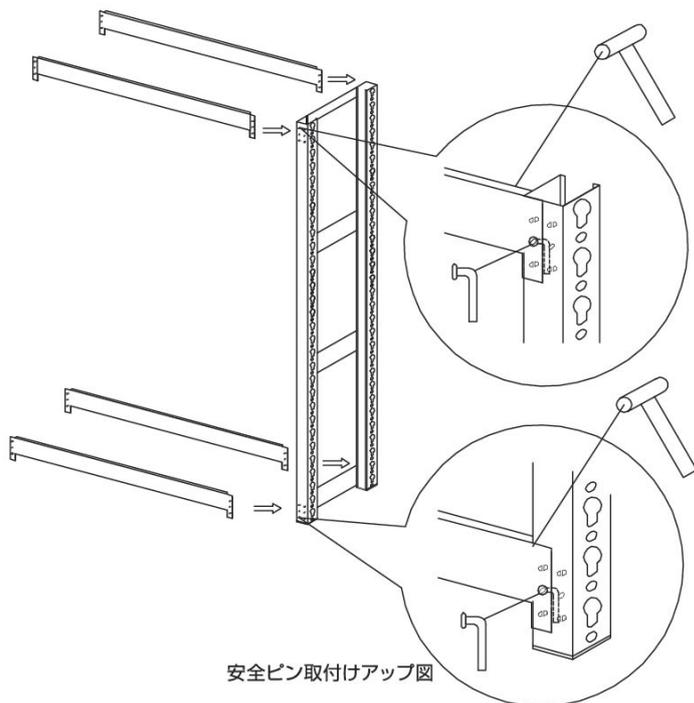
- ①各棚受(天棚受)に棚板を乗せる。
- ②全体のバランス(傾きや棚の段違いなどがないか)を確認。



増連組立て手順

1 支柱枠組み・間口棧の組立て

- ①単体を同様に支柱枠組みを1組つくり間口棧を4本取付ける。
- ②天棚受・棚受は単体支柱枠の連結される側に取付ける。



2 単体と連結させる

- ①単体と共通の支柱を使い連結させる。
 ※木ツチまたはゴムハンマーで間口棧の上部を軽く叩き込みます。

